

まちの話題 **topics**



尼崎でエラブ百合咲き誇る

「第13回エラブ百合まつり」が6月14日、尼崎市の阪神尼崎駅前広場で開催されました。出身者による歌や踊りの芸能が披露された他、阪神及び東日本大震災、JR脱線事故での犠牲者の冥福を祈り、テッポウユリが献花され、黙とうがささげられた後、最後にはユリの切り花や球根配布なども行われました。



町民の安全・無病息災を祈願

7月1日(旧暦5月16日)、大山神社で「大山神社例祭」がありました。関係団体が出席し、山の恵みに感謝した上で、町民の安全や無病息災を祈願しました。祭主一拝、祝詞奏上、玉串奉てんなどの神事が執り行われた後は、琉球舞踊やフラダンスなどが披露されました。



さとうきびの生産拡大を目指して

第20回「さとうきび生産者大会・きび祭り」が、7月4日に知名町民体育館で行われました。両町のさとうきび生産者約600名が参加し、各部門の表彰が行われた他、さとうきび生産の現状についての講話や事業報告などが行われ、最後に生産拡大を目指し、参加者全員による頑張ろう三唱で会が締めくくられました。



犯罪や非行のない明るい社会へ

第65回“社会を明るくする運動”の広報キャンペーン活動が、7月8日、Aコープ知名店前でありました。一日保護司として委嘱された町内各小・中学生7名と関係者でキャンペーン用品などを買物客に配りながら、明るい社会づくりを呼びかけました。



珊瑚を守ろう！

7月13日、沖永良部島ダイビング協会による「珊瑚の再生・植え付けプロジェクト2015summer」が、沖泊漁港でありました。協会所属のダイバーが、海に潜り珊瑚の植え付けを行い、他の参加者は、植え付けの説明を聞いた他、海岸のゴミ拾いを行いました。この活動は、今後も継続するそうです。



毎年恒例のボランティア作業

「知名町建設有志会ボランティア作業」が、7月17日にありました。建設業者の皆さんを中心に総勢90名以上が参加し、町道や農道、公共施設周辺の伐採作業を行いました。炎天下のなかでの作業でしたが、1日足らずで各箇所の状態はスッキリと改善しました。